

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

2020 GUIDEBOOK

作業療法学分野

医療福祉学研究科

- 修士課程 保健医療学専攻
- 博士課程 保健医療学専攻

学生募集要項
は次のいずれ
かの方法でご
請求ください。

Tel 03-5574-3903

E-mail daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

HP <https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

分野責任者ごあいさつ



作業療法学分野責任者
谷口 敬道

作業療法を科学として確立するためには研究活動が必要です。臨床において、自らの知識と技術を駆使して適切な作業療法を行うためには個人としての研鑽が重要ですが、治療・支援技術の開発には、より新しい発想、アイデアが必須となります。

本分野の修士課程では、臨床の中で疑問に思ったことを解明するための科学的思考の基礎を身につけ、実際の研究を通して応用することを目的としています。特に受け身で学ぶのではなく、教員・学生の隔たりなく討論を行う中で、独善に陥らないバランス感覚のとれた論理性、幅広く異なるものを取り入れる吸収力を養い、将来的に実学の研究者として学問体系化をになう作業療法士になることをめざしています。博士課程では、修士課程で身につけた科学的思考を用い、より新奇性の高い研究を通してひとつのテーマを様々な側面から深く掘り進めていきます。

また学内での教員・学生間の討論にとどまらず、広く学外の研究発表等を通して、様々な分野で自らの主張を論理的に展開し、理解を求めることができる能力を養成し、将来的には学問体系化をになう主体でありながら、後進の指導にもあたる活動的な作業療法士になることをめざしています。

経 歴

作業療法士。工学博士。国立療養所東京病院附属リハビリテーション学院卒業。東京理科大学、日本大学大学院理工学研究科医療・福祉工学専攻博士課程修了。社会福祉法人重症心身障害児施設毛呂病院光の家での臨床経験を経て、1993年財団法人国際医療福祉大学設立準備室に入職。本学の創設に参画し現職。専門は小児作業療法学。重度の障害児の療育から通常学級・支援学級、特別支援学校における特別支援教育など幅広く活躍。

分野の特長

■ 作業活動支援学領域

作業活動を提供する意味を考察し、作業療法の原理を探ります。また、作業活動支援に関する対象・種類・動機等について考察します。

■ 作業活動分析学領域

人の日常生活や社会生活の基盤となる作業活動とその遂行を科学的に捉える方法を通し、作業療法の実践に寄与する研究を行います。

■ 精神神経障害作業療法学領域

精神医学や神経心理学等の周辺学分野の知識を深め、精神障害、高次神経障害等の生活支援に寄与する実践的研究を行います。



ゼミの様子

分野・領域内での定期的なゼミ開催のほか、分野内の研究進捗報告会を年4回、また大学院全体の研究報告会が年1回開催されており、研究について自分分野のみならず、他分野・他領域の院生や教員から意見をもらう機会が多くあります。

修士課程・博士課程 コア科目

<p>作業活動支援学領域科目</p>	<p>—— 修士課程 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 作業活動支援学講義 I・II ■ 作業活動支援学演習 I・II ■ 作業活動支援学研究指導 I～IV 	<p>—— 博士課程 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 作業活動支援学講義・演習 ■ 作業活動支援学研究指導 I～III 	<p>eラーニング科目 他</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 教育学 <ul style="list-style-type: none"> ※新指定規則（2020年度施行）では、教員要件として5年以上業務に従事したもので、厚労省が指定した専任教員養成講習会を修了した者と見直しています。ただし、大学又は大学院において4単位以上の教育に関する科目を履修して卒業した者は、5年又は3年以上業務に従事していれば専任教員になることができるとしています。 ※本大学院では、教育に関する科目を履修して卒業することができます。 ■ 修士課程・博士課程のための研究法入門 ■ 統計学 ■ 質的研究法概論 ■ リハビリテーション学講義 I・II ■ PT・OTのための画像診断 <p>他多数</p>
<p>作業活動分析学領域科目</p>	<p>—— 修士課程 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 作業活動分析学講義 I・II ■ 作業活動分析学演習 I・II ■ 作業活動分析学研究指導 I～IV 	<p>—— 博士課程 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 作業活動分析学講義・演習 ■ 作業活動分析学研究指導 I～III 	
<p>精神神経障害作業療法学領域科目</p>	<p>—— 修士課程 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 精神神経障害作業療法学講義 I・II ■ 精神神経障害作業療法学演習 I・II ■ 精神神経障害作業療法学研究指導 I～IV 	<p>—— 博士課程 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 精神神経障害作業療法学講義・演習 ■ 精神神経障害作業療法学研究指導 I～III 	

各キャンパスの責任者



栃木県 大田原キャンパス
谷口 敬道 教授



千葉県 成田キャンパス
河野 眞 教授



神奈川県 小田原キャンパス
藤本 幹 教授



福岡県 福岡キャンパス
日田 勝子 教授



東京都 東京赤坂キャンパス
杉原 素子 教授

東京・栃木・神奈川・千葉・福岡・静岡を遠隔で繋いだ学修展開が魅力！

先輩からのメッセージ

小長谷 信登 さん 修士課程修了生 富士いきいき病院

私は「麻痺手使用制約」を生じている対象者に対し、上肢使用の質的・量的変化のフィードバックをしたいという思いから、「上肢使用の定量化」とともにフィードバック手段の検証をしたいと思い、大学院へ進学しました。大学院では、日々の臨床の中で「疑問」に感じながら、解決できずにいる「臨床疑問」を解決したいという思いが重要です。本学では手厚いサポートだけでなく、多くの院生同士の交流や指導教員からの指導を受けることができ、「作業療法」への追究ができる場です。

椎名 義明 さん 博士課程研究生 防衛医科大学校病院

職務として取り組んでいた三次元動作解析を用いた研究をする中で、成果を整理し、文章にまとめて、人前で発表するという一連の仕事は臨床での能力とは違った力が必要だと感じ、大学院での勉強に挑戦しました。本学の特徴は、専門分野や興味が多岐に渡る仲間と討議できることにあります。そこでは、誰とでもコミュニケーションできる力、柔軟な対応力、調べる力、解決策を見つける力、行動する力、論理的な思考をもつ力、プレゼンテーションする力を鍛えることができると思います。

宮寺 亮介 さん 博士（保健医療学）取得 群馬医療福祉大学

本学を選んだのは、作業療法学だけでなく、福祉支援工学など他の領域を専門とする指導教員も大勢いらっしゃるからです。また、指導教員に入学の相談をした際に、自分が抱えていた研究動機を熱心に聞いていただき、大事に考えてくださったのを実感しました。在学中は、高齢者における身体能力認知と転倒危険性の関係について、研究を進めていました。年に複数回開催される作業療法学分野の研究進捗報告会に出席することで着実に研究を進めることができ、作業療法学分野の多くの先生方から意見をいただけて、研究計画が洗練されていくのが実感できました。

■ 教育内容のご相談 谷口 敬道 教授 (taniguchi@iuhw.ac.jp)

■ 学校生活のご相談 国際医療福祉大学大学院 東京赤坂キャンパス事務局
TEL:03-5574-3900 Mail:tokyo.s.c@iuhw.ac.jp

■ 入試に関するご相談 国際医療福祉大学 東京赤坂キャンパス入試事務局
TEL:03-5574-3903 Mail:daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

国際医療福祉大学大学院

保健・医療・福祉専門職のキャリアアップを支援

「働きながら大学院で学びたい」社会人が学びやすい3つの特長

1 キャンパス

「働きながら大学院で学びたい」。こうした医療・福祉専門職の方々のニーズに応えるため、本大学院は、大田原（栃木県）、成田（千葉県）、赤坂（東京都）、小田原（神奈川県）、熱海（静岡県）、福岡・大川（福岡県）に7つのキャンパスを開設しています。

※分野により受講が限られるキャンパスがあります。

2 カリキュラム

多くの授業を平日の夕方以降と土曜日の昼間に行い、社会人が学びやすい環境を整備しています。

※専攻、分野により異なります。

3 同時双方向遠隔授業

キャンパスを同時双方向遠隔授業システムで結び、複数のキャンパスで授業をリアルタイムで受講できるようにしています。このシステムはテレビ会議方式を授業に取り入れたもので、テレビカメラによる映像や音声、書画カメラの映像、パソコンのファイル情報などが、各キャンパスでリアルタイムに共有できます。これにより、どのキャンパスでも授業が行われている教室と同じ状態で授業を受けることができ、質問やディスカッションなど同時双方向のコミュニケーションも可能です。



医療福祉学研究科

修士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
 - 特定行為看護師養成分野
(旧: ナースプラクティショナー養成分野)
 - 助産学分野
 - 理学療法学分野
 - 作業療法学分野
 - 言語聴覚分野
 - 視機能療法学分野
 - 福祉支援工学分野
 - リハビリテーション学分野
 - 放射線・情報科学分野
 - 生殖補助医療胚培養分野
 - 医療福祉教育・管理分野
 - 臨床検査学分野
 - 遺伝カウンセリング分野
 - 災害医療分野
- #### 医療福祉経営専攻
- 医療経営管理分野
 - 診療情報アナリスト養成分野
 - 医療福祉国際協力学分野
 - 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
 - 医療福祉学分野
 - 医療福祉ジャーナリズム分野
 - 医療通訳・国際医療マネジメント分野
- #### 臨床心理学専攻
- 臨床心理学分野

博士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 臨床検査学分野
- 医療福祉経営学分野
- 診療情報管理・分析学分野
- 医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉学分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野
- 臨床心理学分野

薬学研究科

博士課程（4年制）

医療・生命薬学専攻

薬科学研究科

修士課程（2年制）

生命薬学専攻

- 生命薬学分野
- 医療薬学分野

医学研究科

博士課程

医学専攻

- 基礎医学研究分野
- 社会医学研究分野
- 臨床医学研究分野

修士課程

公衆衛生学専攻

- 国際医療学分野
- 疫学・社会医学分野
- 医療福祉管理学分野

大学院に関するお問い合わせ

東京赤坂キャンパス入試事務室 Tel: 03-5574-3903 〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26

※修士課程は、専門学校等を卒業された満22歳以上の方も出願可能です（国家資格保持等の条件を満たしている必要があります）。

学生募集要項は次のいずれかの方法でご請求ください

Tel 03-5574-3903

E-mail daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp

HP <https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

国際医療福祉大学

□ 大田原キャンパス

- 保健医療学部: 看護学科、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、視機能療法学科、放射線・情報科学科
- 医療福祉学部: 医療福祉・マネジメント学科
- 薬学部: 薬学科（6年制）

□ 成田キャンパス

- 医学部: 医学科
- 成田看護学部: 看護学科
- 成田保健医療学部: 理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科、放射線・情報科学科*

□ 東京赤坂キャンパス

- 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部: 心理学科、医療マネジメント学科

□ 小田原キャンパス

- 小田原保健医療学部: 看護学科、理学療法学科、作業療法学科

□ 福岡キャンパス

- 福岡看護学部: 看護学科

□ 大川キャンパス

- 福岡保健医療学部: 理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科
- 福岡薬学部*: 薬学科（6年制）

*2020年4月開設予定

国際医療福祉大学 附属病院

- 国際医療福祉大学病院（栃木県）
- 国際医療福祉大学塩谷病院（栃木県）
- 国際医療福祉大学三田病院（東京都）
- 国際医療福祉大学熱海病院（静岡県）
- 国際医療福祉大学市川病院（千葉県）
- 国際医療福祉大学成田病院（千葉県）*

*2020年春開設予定